

「ものづくり教育シンポジウム2008」  
(兼・第13回建築系ひとづくりフォーラム)の開催にあたって

## 産学連携で実践的なものづくり人材の育成を

この度、(社)日本建築学会では、(社)実践教育訓練研究協会と共催で、上記シンポジウムを開催する運びとなった。

前者の日本建築学会では、新たな時代の人材育成の課題を探る「建築教育の需給構造と建築職能の将来像特別研究委員会」が、2007年より2年間限定で活動中であり、その一つの「現場人材の育成法ワーキンググループ(WG)」では、「技能者の育成法サブWG」と「施工管理者の育成法サブWG」に分かれて、多様な課題の検討を進めている。

後者の実践教育訓練研究協会/建築・デザイン系専門部会では、社会ニーズに対応した真に実践的な教育方法を探るべく、制度の壁を越えた草の根レベルのオープンな交流場として「建築系ひとづくりフォーラム」の活動を1999年以来行っている。

両グループは、各々の活動を通し、深刻化する建築界の人材育成課題やノウハウについて、中立的立場から広く各界にむけて活動成果の還元と社会的提言をめざしている。

周知のように、バブル崩壊以降、建設業に就職する若者は大幅に減少し、今や建設業は若者に魅力のない産業となっている。特に深刻なのは、未来の建設現場を支える若者の激減であり、次世代育成をどう立て直すかが業界共通の大きな課題となっている。

日本の建築教育は、明治導入期以来の歴史事情もあり、産業界と教育界は分断傾向にあるが、近年の産業・市場の変化や社会変化によって、さらに人材需給のミスマッチが拡大している。教育界では少子化で教育経営の危機等が進む一方、上流の計画系に偏した旧態依然たる教育方法が続き、また、産業界では若者の入職が激減する一方、企業体力の低下でこれまで有効であった現場OJTも機能不全の状況にある。

今後、多くの優秀な若者をこの産業に呼び込み、疲弊した産業を立て直すには、教育界と産業界を円滑に結ぶ一貫的体制を構築する必要がある。そのためには以下のような仕組みを産学連携で強力に進める必要があろう。

- (1) 川上のみ偏した現行のステロタイプ教育の変革、実践的な実学融合や新分野プログラムの開拓と導入、現場インターンシップ・二元的教育等の推進
- (2) 関係者の交流の活発化、指導陣の研鑽、教育ノウハウの共有化、実践的なものづくり教育の全国普及、膨大な建築教育機関の特色化、多様な社会的教育場の創出
- (3) 子ども期からのものづくり教育、楽しさ・やりがい体験機会の拡充
- (4) 職人仕事の魅力化、適正な技能評価と待遇の改善、新たな職能像の創出、卒業以降の継続教育等

むろん、これらは、業界改革と一体的推進なしになしえない課題だが、各立場で出来るところから産学連携を進め、突破して行くより方法がないと思われる。

その意味で、各地で日々実践されている関係者が討議する今回の催しは、画期的意義を持つものであり、会場をまじえての実りある討議と今後に向けた動きを期待したい。

秋山 恒夫

(社)日本建築学会 / 建築教育の需給構造特別研究委員長  
(社)実践教育訓練研究協会 / 建築系ひとづくりフォーラム主宰  
職業能力開発総合大学校東京校

# 「建築教育の需給構造と建築職能の将来像特別研究委員会」の活動について

本委員会は、時代の転換期において産業界と教育界の人材需給面で起きている総体的課題を把握し、今後めざすべき建築界の人材育成と教育の方向を探ることを目的として、第1次研究(2004~2005年度)に引き続き、第2次研究(2007~2008年度)を進めている。

## 第一次研究(2004/4~2006/3)の総括

### 今後への課題

#### (明らかに出来た点)

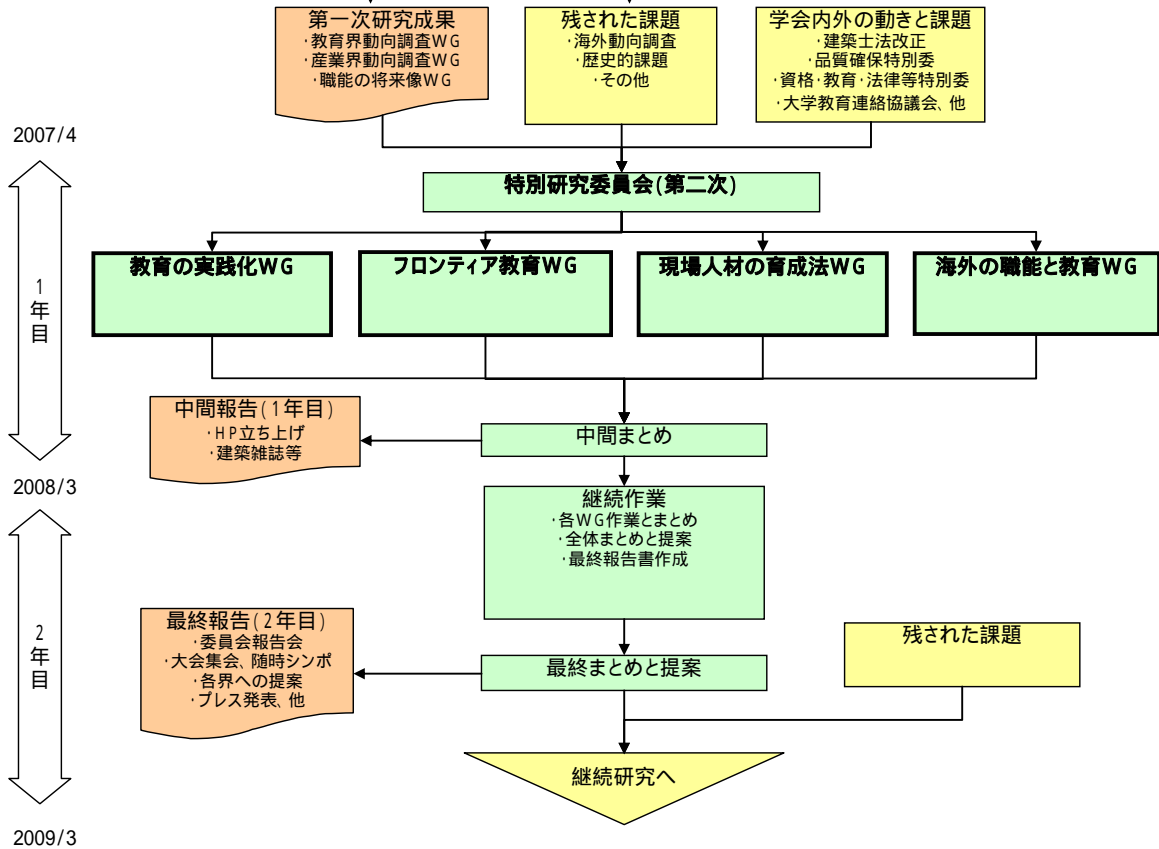
1. 現状の建築教育の規模、進路、教育内容の変化等
2. 建築基幹業種における採用、社内教育、継続教育ニーズ、大学への要望等
3. フロンティア職能のニーズと可能性、必要能力と対策
4. 建築産業の成熟化、市場変化に対応した新たな人材育成のあり方
5. 産業界と教育界の連携、産学協議テーブルの緊急的必要性

#### (残された課題)

1. 卒業生進路調査の継続  
... 運営別・地域別・分野別、新分野進出等
2. 教育の新市場開拓、実践力向上の事例収集  
... 出口戦略、教育方法、体制等
3. 他産業、周辺産業の受け入れ動向  
... 建築系の受け入れ・活用法、付加能力育成法
4. フロンティア職能開拓にむけた教育法、教材開発..... ケースメソッド等
5. 多様な継続教育プログラム、教材の開発
6. 現場人材育成にむけた産学協同プラットフォームの検討 ... 仕組み、財源、方法等
7. 歴史的課題からみた克服すべき方向性  
... 建築界総体の人材育成課題、社会との関係
8. 海外動向からみた人材育成と教育のあり方  
... 欧米の成熟社会、アジア等の動向

(2006/7/17理事会への概要報告PPTから)

## 第二次研究(2007/4~2009/3)の作業フローチャート(案)



## 「建築系ひとづくりフォーラム」の活動について

このフォーラムは、社会ニーズに対応した真に実践的な教育方法を探るため、制度の壁を越えた草の根レベルのオープンな交流場として、特色ある教育機関等を会場に全国巡回方式で開催されている。(社)実践教育訓練研究協会 / 建築・デザイン系専門部会主催、1999年より既に12回開催)

- 活動趣旨：
- 1) 既成の教育制度や人材育成方法の行き詰まり、学校現場と生産現場の分断等の現状を乗り越え、社会ニーズに対応した真に実践的な教育方法を探るため、制度の壁を越えた草の根レベルの自由な交流を進める。
  - 2) 教育現場や生産現場、技術動向等の見聞の拡大、相互研鑽等を図り、建築の「ものづくり・ひとづくり」に関する多様な問題を研究討議する。
  - 3) 活動成果をまとめるとともに、相互施設間や産官学の連携を促進し、新しい社会的動きの創出をめざす。

討議テーマ例： 多面的角度から、様々なテーマを掘り下げ(シンポ、特別講演等も随時)

- 1) 育成課題
  - ・ 建設業界の今後見通し、生産システムの変化、業界課題
  - ・ 今後の人材対策、求められる人材像・必要能力、人材育成の仕組み
- 2) 教育技法
  - ・ 産官学の連携方法、育成コストの負担法、育成機関のネット作り
  - ・ 施工系教育がめざすべき理念、プログラムの組み立て方
  - ・ 実践的な育成方法(徒弟制・学校教育、町場・野丁場等)
  - ・ 分野別の実習方法(構造別、職能分野別、技能・施工管理等)
  - ・ 指導陣の能力向上策、教材ノウハウの開発
- 3) 社会課題
  - ・ 既成教育への改革提言(小中高、大学)、市民への裾野の拡大、業界改革
  - ・ 在職者の継続教育の方法(段階別・分野別教育、OJT、自己啓発等)
  - ・ 川上・川下の連携(林業再生、消費者、環境問題、ボランティア等)
  - ・ 伝統・地域工法、歴史研究、維持保全、新世代技術等

会場候補例： 特色ある教育を展開中の機関・団体・企業等に協力依頼し巡回開催 ( : 既開催)

木造系認定訓練校	住友林業建築技術専門学校(千葉県四街道市) / 東京建築カレッジ(豊島区池袋) / 東京建築高等職業訓練校(渋谷区) / 富建築高等職業訓練校(新宿区) / 土屋アーキテクチャーカレッジ(北海道) / 新庄マイスターカレッジ(山形県新庄市) / 陸前高田高等職業訓練校(岩手県) / 木匠塾(岐阜県中津川市) / 各地の訓練校(多数)
躯体系認定訓練校	富士教育訓練センター(富士宮市) / 三田建設技能研修センター(兵庫県三田市) / 広島建設アカデミー(広島市) / 熊本職業訓練短期大学校(熊本市) / 高知県建設職業能力開発短期大学校(南国市) / 鈴木職業訓練校(東京都、鈴木組、とび科)等
仕上系認定訓練校	京都府左官技能専修学院(京都市) / INAX 建築技術専門学校(愛知県常滑市)等
フリースクール等	森林たくみ塾(岐阜県清見村) / 金沢職人大学校(金沢市) / 住まい塾(東京、大阪) / 大工塾(埼玉県川越市) / 大工育成塾(国交省+住宅研修財団、各地) / 信州伝統大工コース(長野県松本市) / 神楽坂建築塾(東京都)等
公共訓練校	職業能力開発総合大学校・東京校(小平市) / 職業能力開発総合大学校(相模原市) / 山形県立産業技術短期大学校(山形市、設備系科) / 岐阜県立国際たくみアカデミー(大学院大学・スール・カレッジ・カレッジ、岐阜県大垣市) / 長野県立松本技術専門学校(松本市、木造建築科) / 宮崎県立産業技術専門学校(宮崎県西都市、構造物鉄工科他)等
大学	ものづくり大学(埼玉県行田市) / 木匠塾(大学間ワ-カレッジ、加子母・美山等全国5ヶ所)
専門学校	日本建築専門学校(静岡県富士宮市) / 岐阜県立森林文化アカデミー(岐阜県美濃市) / 富山国際職芸学院(富山県大山町) / 京都建築専門学校(京都市、伝統建築研究科) / 日本工科専門学校(姫路市、現場インターシップ、職人マスター養成コース) / 日本溶接構造専門学校(横浜市) / 兵庫県立淡路景観園芸学校(景観園芸専門課程他)等
工業高校	兵庫県立東播工業高校(加古川市、現場インターシップ) / 熊本県立球磨工業高校(人吉市、伝統建築コース) / 真幌館(しんそうかん)高校(北九州市、伝統技能コース)等
子供教育	建築と子供たちネットワーク(仙台、京都等) / 親と子の都市と建築講座(建築学会、各地) / 小中高への職人出前授業(各地)等
技能競技会	技能五輪(国内、国際) / 若年者ものづくり大会 / 高校生ものづくりコンテスト / 技能グランプリ / 青年技能競技 / 削るう会 / 木造耐力壁ジャパンカップ等
企業現場等	ゼネコン(大手、中小) / 住宅(工務店、住宅メーカー) / 事務所(組織、アトリエ) / 施工現場 / 工場 / 研究試験所 / 展示場、等
海外他	欧米(ドイツ、フランス、イタリア、アメリカ等) / アジア(韓国、中国等)他

「建築系ひとづくりフォーラム」過去の開催記録

<p>第1回 住友林業建築技術専門学校 (1999/7/24、千葉県四街道市)</p> 	<p>第2回 東京建築カレッジ (1999/11/27、東京都豊島区池袋)</p> 	<p>第3回その1 日本建築専門学校 (2000/7/7~8、静岡県富士宮市)</p> 
<p>第3回その2 富士教育訓練センター (2000/7/7~8、静岡県富士宮市)</p> 	<p>第4回 山形県立産業技術短期大学校 (2000/9/29~30、山形県山形市)</p> 	<p>第5回 職業能力開発総合大学校東京校 (2001/5/25、東京都小平市)</p> 
<p>第7回 ものづくり大学 (2001/11/30、埼玉県行田市)</p> 	<p>第8回その1 岐阜県立森林文化アカデミー (2002/11/29、岐阜県美濃市)</p> 	<p>第8回その2 オークプレッジ+森林たくみ塾 (2002/11/30、岐阜県清見村)</p> 
<p>第9回その1 富山国際職藝学院 (2004/9/29、富山県大山町)</p> 	<p>第9回その2 金沢職人大学校 (2004/10/1、石川県金沢市)</p> 	<p>第10回その1 長野県立松本技術専門学校 (2005/9/30、長野県松本市)</p> 
<p>第10回その2 (有)三浦創建 (2005/9/30、長野県塩尻市)</p> 	<p>第11回 気仙大工の里 + 陸前高田高等職業訓練校 (2007/6/2~3、岩手県大船渡市)</p> 	<p>第12回 飯能・秩父の 山林とネットワーク (2007/9/29~30、埼玉県飯能市、秩父市)</p> 